授業科目名・形態	小児看護学概論　　講義	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	板東　利枝	実務経験の有無	有	開講期	１年後期
科目ナンバリング	N5-1001npmht				

【授業の主題】

子どもたちがより健やかに成長・発達をとげていくことは人類共通の願いである。これからの社会を担う子どもたちの命を守り、困難な状況を改善し、健やかな成長・発達を保証することは社会全体の責務でもあるが、医療・看護の役割は特に大きいといえる。子どもを取り巻く環境が急激に変化しているなかで子どもの健康を守り、健やかな成長・発達を支えるためには対象である子どもの特徴について学ぶことが欠かせない。また子どもを取り巻く環境として家族や社会の状況を知る意義は大きい。子どもへの直接的な支援と共に、家族が安心して育児にあたることのできる環境づくりが小児看護の重要な役割であることを理解することが重要である。

【到達目標】

1. 小児看護の対象と看護師の役割を理解し、説明できる。
2. 小児の成長・発達の特徴を理解し、説明できる。
3. 小児の発達段階に応じた生活援助方法を理解する。
4. 小児を取り巻く家族・社会の環境を理解し、小児看護の特性と保健、福祉について理解し、説明できる。

【授業計画・内容】

第 1 回　小児看護の特徴と理念、小児を取り巻く諸統計
第 2 回　小児の成長と発達
第 3 回　小児各期の健やかな成長と発達のための看護　①新生児・乳児
第 4 回　小児各期の健やかな成長と発達のための看護　②幼児・学童
第 5 回　小児各期の健やかな成長と発達のための看護　③思春期・青年期の小児
第 6 回　小児・家族のアセスメント
第 7 回　小児と家族を取り巻く社会
第 8 回　まとめ

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行うので主体的に授業に参加すること。

【事前・事後学習】

小児看護学概論の教科書を１単元ずつ進んでいきます。事前に目を通してくること。
講義内容に関する事前学習および講義内容を踏まえた復習を毎回２時間ずつ行うこと。

【主な関連する科目】

「小児看護方法論Ⅰ（病気・障害をもつ子どもの看護）」「小児看護方法論Ⅱ（系統別看護）」「病態治療学Ⅲ（小児科）」

【教科書等】

系統看護学講座　専門分野　小児看護学［1］小児看護学概論・小児臨床看護総論、医学書院

【参考文献】

授業で適時紹介する。

【成績評価方法】

定期試験 100%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

実務経験にて小児患児・家族と関わった経験を活かし、小児看護の基盤となる知識や考え方を伝えていきたい。

【学生へのメッセージ】

子どもと家族を取り巻く社会の変化をふまえ、健やかな成長と発達を支援するための小児看護の役割を理解してほしいと願っています。